

●近年、急速な進展を見せるモンゴル史研究は、その基礎を多くの新資料によっている。「モンゴル学研究基礎資料」叢書は、そうした資料群の整理・展示を目指すものである。

【モンゴル学研究基礎資料 3】

# モンゴルのアルジャイ石窟

## ——その興亡の歴史と出土文書

楊海英編

3 アルジャイ石窟出土文書の意義

……服部氏の論文はニコラス・ポッペの目にとまり [Poppe 1954:1148]、そしてハイシツヒに知られるようになる。ハイシツヒは数度にわたって来日しオロン・スムの文書を研究した [Heisig 1966:1976b]。世に送り出した二冊の大著を通して、世界の学界は一六〇一七世紀に書かれたモンゴル語佛典の実態を知ることになったのである。モンゴル高原では一九七〇年にモンゴル人民共和国とソ連との合同調査隊がハルブヒン・バルガスで白樺に書かれたモンゴル語文書を発見した。これらの資料を整理して出版したキョードー女史は、文書の大半を一七世紀前半に書かれたものだとしている [Chido 2001]。モンゴル高原における佛教導入直後の信仰の実態を研究する上で最も重要な資料となる。

出土文書のほかに、ウイグル文字モンゴル語榜題も各地に存在する。アルジャイ石窟以外には河西走廊に位置する敦煌石窟内にもモンゴル語榜題が残っている [敦煌研究院考古研究所 内蒙古師範大学蒙文系 一九九〇：一一一九、Tanuti 他 1995:117-138; Tanuti 2003:75-77]。

二〇〇三年一二月、寧夏回族自治区中寧県内にある石空大佛寺からもチベット語の文書が発見された [大野二〇〇五：七二]。今後各地からの新しい発見は不可能ではない。

以上のように、トルファン盆地からモンゴル語文献が発見されてから、二〇〇〇年春にアルジャイ石窟から文書が出土するまで、ちょうど一世紀の光陰が経った。大元ウルスのモンゴル本土部分の東西南北の数箇所から貴重な文献が発見されたことは、今後、モンゴル時代以降の佛教信仰を解明する上で、大きく寄与することとなる。(本書より)

### 第一章 故郷アルジャイ

1 アルジャイ石窟周辺 2 『モンゴル秘史』とアルジャイ石窟 3 アルジャイ石窟の概要

### 第二章 伝説と記憶のアルジャイ

1 アルジャイ石窟に関する諸伝説 2 記憶のアルジャイ 3 ナルバンチン寺領の成立とデルワの北遷 4 カギユ派の系統を汲む歴世デルワ・ホトクトたち 5 歴世ナルバンチン・ホトクト

### 第三章 現代におけるアルジャイ石窟とその継承寺バンチン・ジョー寺との関係

1 バンチン・ジョー寺と呼ばれていたアルジャイ石窟 2 継承寺バンチン・ジョーの僧は語る 3 現在のアルジャイ石窟とバンチン・ジョー寺

### 第四章 アルジャイ石窟のウイグル文字資料群

1 ウイグル文字モンゴル語榜題資料の概要 2 「聖救度佛母二十一種禮讚經」再読

### 第五章 アルジャイ石窟出土モンゴル語写本

1 出土文書の概要 2 手写本類の転写 3 アルジャイ石窟出土文書の意義

### 第六章 アルジャイ石窟からの展望

1 カギユ派とモンゴル 2 アルジャイ石窟を破壊したのはリクタン・ハーンか 3 清朝によるリクタン・ハーン批判の画策 4 アルジャイ春秋

### 参考文献

1 アルジャイ石窟の主な壁画 2 北京版「聖救度佛母二十一種禮讚經」 3 アルジャイ石窟出土文書

### 体裁

・ B5判・三一〇頁  
・ 並製・写真多数

### 税込み定価

・ 五二五〇円  
(本体五〇〇〇円)

注文書	
流通センター取扱品	
発売	風響社 TEL: 03-3828-9249
税込み	五二五〇円
部	

楊海英編

モンゴルのアルジャイ石窟

その興亡の歴史と出土文書

ISBN978-4-89489-873-8 C3022 ¥5000E

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一-一四一九  
電話〇三(三八二八)九二四九  
http://www.fukyo.co.jp

月 日

ご氏名  
ご住所

お電話

〔お客様控え〕